



©Bob Gruen

ドリームパワー

# Dream Power

## ジョン・レノンスーパーライブ

世界の子どもたちに学校を贈ろう!

24

### バックステージ⑤

## 開演直前までリハーサル

さあ、ついにドリーム・パワー・コンサートの当日です。コンサートが始まる時間を遅らせることはできないので、準備は時間との勝負になります。

お昼ごろにバンドのメンバーがそろったら、いよいよ本番を想定したりリハーサルが始まります。

ドリーム・パワー・コンサートのバンドは「トリビュート・バンド」と呼ばれていて、ドラム、ベースが1人ずつ、ギター、キーボードが2人ずつの6人編成です。それぞれ楽器のチューニング（音の高さ合わせ）から始め、どの曲でどの楽器を使うかなど、念入りに確認していきます。

バンドが準備を終えると、出演アーティストを迎えてのリハーサルが始まります。出演者は本番さながらに歌い、音響・照明・映像チームなどすべてのスタッフも本番と同じようにリハーサルをしていきます。たとえば、テレビ収録チームは、どの位置から撮影するのか、どのように撮影するのかなど、いろいろ試みます。

時間は待ってくれません。舞台監督はてきばきとリハーサルを進めていきます。みんなの表情は真剣そのものです。でも、スタッフのみんなが楽しみにしていることもあり、それはコンサートのフィナーレのリハーサルです。豪華な出演者全員が集まるからです。

バンドはほとんどの出演者のリハーサルに参加します。リハーサルが終わるのは開演時間のほんの少し前です。おなかもペコペコでしょう。このころにはもうお客さんが日本武道館の外に集まり始めて、チャリティーグッズを買ったり、看板のところで記念写真を撮ったりしている時間です。

広報担当者は、コンサートを取材しに来た新聞社、テレビ局、通讯社、インターネットニュース局や雑誌社など大勢の報道関係者を席に案内します。そして、いよいよ開場の時間です！

こんな光景が毎年繰り返され、日本武道館で1万人を超える観客の集まるコンサートが開催されています。11回目の今年はどんなステージになるのでしょうか。みなさんドリーム・パワー・コンサートに来てください。

（ドリーム・パワー ジョン・レノン音楽祭事務局・浜田哲朗）

毎回、コンサートの最後は、出演者がステージに勢ぞろいし、華やかにフィナーレを迎えます。今年にはどんな顔ぶれになるのでしょうか。出演者の発表は間もなくです